

1. 件名：東京電力福島第一原子力発電所の事故分析に関する面談
2. 日時：令和3年10月1日（金）16時30分～17時00分
3. 場所：原子力規制庁 18階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

木原室長補佐、佐藤（匡）室長補佐、（以下、テレビ会議システムによる参加）星上席技術研究調査官、佐藤（雄）管理官補佐

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー 原子力設備管理部設備技術グループ

担当者 2名（テレビ会議システムによる出席）

福島第一廃炉推進カンパニー プロジェクトマネジメント室

担当者 1名（テレビ会議システムによる出席）

経営技術戦略研究所技術開発部材料・化学エリア

担当者 1名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

○原子力規制庁は、東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、9月14日に開催した東京電力福島第一原子力発電所における事故の分析に係る検討会（以下「事故分析検討会」という。）第22回の資料5-1に基づき、有機化合物を含む可燃性ガスの発生源に関する過去の調査結果並びに東京電力が計画しているケーブル及び塗料の可燃性有機ガス発生量評価計画の内容について、主に以下の点に関して確認した。

- 東京電力福島第一原子力発電所3号機の原子炉格納容器内で確認されたケーブル及び保温材の仕様と予備品を含めた東京電力での在庫状況
- 東京電力で計画しているケーブル及び塗料の昇温試験の内容
- 昇温試験の対象とする試料の準備状況 等

○原子力規制庁から、今後の調査・分析として、可燃性ガスの発生源を検討するための基礎実験等を行うため、ケーブル等の試料提供を東京電力に依頼した。

6. 資料

- 有機化合物を含む可燃性ガスの発生源に関する過去の調査結果から得られた情報について（東京電力福島第一原子力発電所における事故の分析に係る検討会（第22回）資料5-1）

以上